

滋賀県がん診療連携協議会・第1回相談支援部会

日時：平成30年6月25日（月）18:00～19:30

場所：滋賀県立総合病院 新館4階講堂

(敬称職名略)

【部会長】滋賀県立総合病院 山内

【副部会長】大津赤十字病院 塘、市立長浜病院 伏木

【部会員】滋賀医科大学附属病院 木村、

大津赤十字病院 山本、滋賀県立総合病院 がん相談支援センター 岡村、
公立甲賀病院 看護部 岡本、彦根市立病院 がん相談支援センター 乾、
市立長浜病院 がん相談支援センター 橋本、高島市民病院 地域医療連携室 大塚、
市立大津市民病院 地域医療連携室 上林、草津総合病院 吉村、
済生会滋賀県病院 がん診療支援センター 山田、
近江八幡市立総合医療センター 患者総合支援課 木本、
長浜赤十字病院 がん診療支援室 寺村、東近江総合医療センター 長岡、
滋賀県歯科医師会 柴田、滋賀県薬剤師会 渡邊、
滋賀県看護協会 梅本、滋賀県歯科衛生士会 中西、
滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井、滋賀県がん患者団体連絡協議会 須藤、
滋賀県健康医療福祉部 大井、滋賀県立総合病院 川邊

【事務局】滋賀県立総合病院 地域医療連携室 湊山

【欠席部会員】滋賀県医師会 重永

【オブザーバー】梅花女子大学 看護保健学部 原田、

NPO法人 淡海かいつぶりセンター長 宮本、

公立甲賀病院 がん診療部がん相談支援室 柴田、

彦根市立病院 森口、滋賀県立総合病院 吉田

1. 部会長あいさつ

(山内部会長)

(新任自己紹介)

2. 審議事項

(1) 平成30年度からの相談支援部会の取り組みアクションプランについて

(事務局)

- ・PDCA チェックリストのPlan(計画)とDo(実行)について2案ずつ提案。
- ・審議の結果、Plan(計画)については「がん相談窓口取り組み実施状況の充実」、Do(実行)については「各体制の確保、各支援の実施」が採用となり、それぞれ承認をいただいた。

3. 報告事項

(1) 平成29年度セカンドオピニオン受入れ紹介状況について

・平成 30 年度がん相談支援センター等がん相談窓口取り組み実施について

(事務局)

- ・平成 29 年度セカンドオピニオン受入れ紹介状況については、件数が減少した平成 28 年度からは若干件数が増えている。セカンドオピニオンは悪性新生物についてが多く、その中でも大腸がん、膵がん、肺がんの件数が多い。平成 28 年度は 20 件を超えていたのが、大腸がん、膵がんであったが、29 年度は肺がんも 20 件を超えた。
- ・セカンドオピニオンは相談者が自分らしく納得できる選択をするための仕組みとして重要なので今後もこの調査を続けていく。
- ・平成 30 年度がん相談支援センター等がん相談窓口の体制と取り組み実施について、相談員は 63 名と平成 29 年度から 5 名増となっている。内訳は、看護師が 26 名、社会福祉士が 23 名、事務 5 名、医療心理に携わるもの 3 名、その他の方 2 名そして、医師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー（上記以外）がそれぞれ 1 名となっている。平成 29 年度のがん相談件数は合計で 7,828 件で昨年の 7,693 件に比べ 135 件増であった。取り組み状況はほぼできている結果となった。

(2) PDCA サイクルについて

平成 29 年度がん相談後アンケート結果(4 月～3 月)

(事務局)

- ・平成 29 年度がん相談後のアンケートは 321 件の提出があった。相談者の性別は、男性に比べて女性が倍近く多いという状況。相談者の約半数が患者本人から。相談者の居住地については県内在住の方が 85%と圧倒的に多い。内容については 92%が「役に立った」、1%が「どちらでもない」、7%が「無回答」であり、自由記載では感謝の言葉が多くみられた。要望としては、「土日もある」とありがたいや「相談時間等を増やしてほしい」などの声があがっていた。

(山内部会長)

- ・がん相談後のアンケートは PDCA サイクルのアクションプランとして平成 27 年度から掲げている。なかなか実施していただくには大変なことも多いと思うが、まだ実施されていないご施設におかれましては、ぜひご検討いただければと思う。先の報告では昨年度の相談件数が 7,828 件であり、20 分の 1 以下のアンケート結果ということになる。アンケート率がこれだけ低い中で評価となるため、なかなか実態を反映しているかという点については難しい判断になるかと思うので回収率をあげるようにご努力いただきたい。

(3) 第 10 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会の結果について

開催日時：平成 30 年 5 月 23 日(水)13:00～16:30

開催場所：国立がん研究センター新研究棟 1 階 大会議室

(滋賀県立総合病院)

- ・ゲノム中核拠点病院について全国で 11 施設が指定。滋賀県内では指定無し。近隣では京都大学が指定。ゲノム医療連携病院は全国 100 施設余りで県内では滋賀医科大学が指定。今後ゲノム医療についての相談が増えてくると推察されるため、中核拠点ないし連携病院に繋いでいくことが期待されるのではないかとと思われる。
- ・がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しについて、最新版の整備指針は 6～7 月を目処に発出予定。指定要件見直しのポイントで相談支援センターに関わりそうな項目には「指定に関する課題

の整理」がある。地域がん診療連携拠点病院の指定を受けている施設で、要件が未充足となつているところがあることについて議論となつており、指定の取り消し等を含めて検討されている模様。

- ・平成 30 年度診療報酬改定において、がん患者の治療と仕事の両立支援に関する診療報酬として、療養・就労両立支援指導料(1000 点)が新設された。
- ・情報提供・相談支援部会において、平成 29 年度ワーキンググループを発足して「自殺対策」について等の提言を行った。
- ・がん対策情報センターおよび各県・ブロックからのお知らせということで、災害時に切り替わるインターネットサーバーが 2018 年 3 月から稼動しているなど災害対策についての報告があった。また各地域での相談支援フォーラムの開催報告および開催予定の告知や、がん相談支援センターと地域の図書館との連携についての報告があった。

(4) 滋賀県がん患者団体連絡協議会の報告事項

(滋賀県がん患者団体連絡協議会)

- ・平成 29 年度がん患者サロンについての参加者実績等の集計結果の報告。平成 30 年 3 月までは 9 か所で 4 月からは 3 ヶ所サロンが増加。
- ・県立総合病院にて開催されているがん患者サロン「こころ」についての案内。再発・転移・ステージ 4 の方を対象としている。院内放送のおかげもあり参加者が多い状況となっている。また、大津赤十字病院にて開催されている「フレンドミーティングアヤ (Friend Meeting AYA)」については、4 月から毎月第 1 土曜日に開催。相談支援の中で該当の方がおられた際には参加についてお声掛けをいただきたい。
- ・平成 30 年度ピアサポーター養成講座受講者募集の案内。応募締切は 7 月 20 日(金)。相談支援センターや治療で面談されている方で、ピアサポートに適した方がおられたらご案内をいただきたい。

(5) 協議会事務局の報告事項

(協議会事務局)

- ・滋賀県がん医療フォーラム開催実績の報告。昨年度は第 9 回として本年の 2 月 18 日(日)に開催。テーマは「患者さんの負担を減らすがん手術」。他のがん関係のセミナーと日程が重なったこともあり、参加者数は 170 名と例年より少し少ない結果となっている。また、テーマに関しても手術がテーマであり、少し限定的だったかとの意見もあった。
- ・今年度のがん医療フォーラムについては、平成 31 年 1 月 27 日(日)にピアザ淡海で開催を予定。今年度は開催日を「がんと向き合う週間」の少し前に設定し、他の講演やセミナーと日程が重複しないように配慮している。テーマ等はこれから検討するので意見等があればいただきたい。
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医大については、滋賀県がん診療連携協議会として毎年ブースを出展して参加している。今年度の開催は 10 月 13 日(土)と 14 日(日)の二日間の予定。今年度も参加を検討しており、参加の際にはご協力を願いたい。

(6) 県の報告事項

(県健康医療福祉部)

- ・滋賀県がん対策推進計画第 3 期の概要について説明。計画期間は平成 30 年度から平成 35 年度までの 6 年間。国のがん対策推進基本計画の改定も踏まえて、県でも計画を見直し計画を改定している。

- ・基本理念は「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現」。相談支援や情報提供だけではなくて、いろいろな分野で協力や支援をいただくことになると思われるため、がん対策推進計画をご一読願いたい。

4. その他

(1) 「滋賀の療養情報」の更新について

(事務局)

- ・「滋賀の療養情報」については、昨年度に第 5 版を作成。情報を更新する必要があることから今年度も第 6 版の作成を行う必要があると考えており、以下 3 点について確認・依頼をさせていただきたい。
 - (1) 作成委員・WGメンバーについて、昨年度と同様のメンバーを基本とし調整を行ってよいか。新たに参加ご希望の方や追加が望ましい方等はおられないか。
 - (2) 発行部数について、昨年の第 5 版は 400 部を発行。各配布施設等において不足のため追加の要望が多くある。しかしながら、財政上予算の制約を受け、追加印刷が厳しい状況である。「『滋賀の療養情報』が患者等に案内するための有効なメディアである」という位置付けは変わらないため、多少形を変えてでも部数確保に向け、さまざまな可能性について模索していきたいと考えている。また、部会員におかれても、当事務局で発行した初期の部数を越えて要望される場合は、追加部数分を各施設にて費用負担していただく可能性も含めて、お含みいただくとともに、対応について御検討いただきたい。
 - (3) 各施設においての必要部数について可能な限り正確に把握しておく必要があるため、今後照会等をさせていただくので御協力願いたい。
- ・以上①～③の 3 点について部会員の承認をいただいた。

(2) 家計プラン事業について

(梅花女子大学)

- ・家計プラン事業についての進捗・評価等の説明。がん教育やがん相談支援センターの啓発についてなど事業にかかるアンケート協力の依頼。

(3) その他

(山内部会長)

- ・公開講座「がんと妊娠」の案内。がんと妊娠、若い女性の将来と妊娠と出産を考えるというテーマで 7 月 1 日(日)に琵琶湖ホテルにおいて開催。ぜひ参加いただきたい。

(市立長浜病院)

- ・「湖北がんフォーラム 2018」の案内。市立長浜病院と長浜赤十字病院が一緒になって、市民の方々に対してそれぞれの病院が提供できる医療についてお伝えしたいと考えている。多数のご参加をいただきたい。

以上